

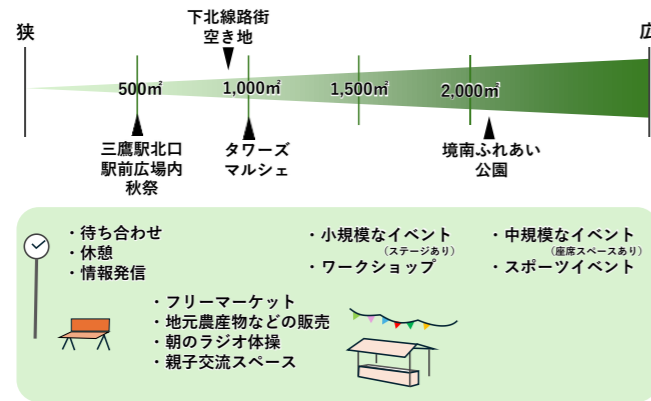
1. 第3回 改定委員会の議題概要

(1) 交通環境の方向性

【方向性】人々が集える、安全で快適な歩行者中心の街

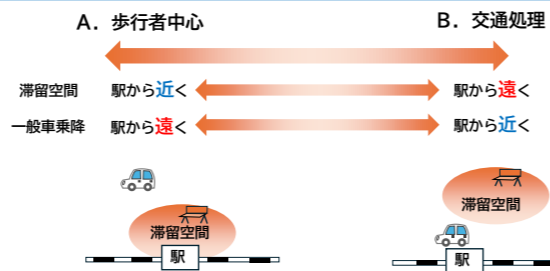
- ・補助幹線道路の整備を契機に、新たな交通体系を構築し、安全で快適に移動できる交通ネットワークを形成する。
- ・駅前広場を段階的に改善する。交通体系が変化する段階では、社会実験等を通じて検証し、交通結節点機能と滞留機能を併せ持つ質の高い駅前広場づくりを進める。
- ・かたらいの道などの歩行者軸では、歩車動線の交錯を解消し、地域や路線にふさわしい“関わりしろ”が生まれる空間づくりを進める。
- ・沿道の土地利用とも連携し、路外駐車場や駐輪場の設置などの協力を求める。

滞留空間の大きさと空間の使い方



(2) 田口委員講演

- ・にぎわいの捉え方は人それぞれ、「関わりしろ」が増えた結果として、「にぎわい」が生まれる
- ・その場所に佇むのも関わり方のひとつ。多様な関わり方があることで、場所の豊かさが増す
- ・変わっていくことを前提とした「チューニング」が大事



2. 改定委員会で出た意見

【交通環境について】

駅前広場について

- 駅前広場の滞留空間について
  - ・いかに駅周辺で滞留してもらおうか
  - ・イベント利用時：水道、電気等も考慮
  - ・限られた空間内での使い方
  - ・平、休日の違いも考慮
- 駅前広場の整備について
  - ・段階的に最適解を見つける
  - 維持管理方法も含めて検討が必要
  - ・自家用車の進入抑制を検討する場合
  - ⇒周辺への魅力的な土地利用の誘導
  - 市民の認識とライフスタイルの変化
  - 社会実験を通したムーブメント
  - ・東西のバランスから3ロータリー案もあり得る
- 世界連邦平和像について
  - ・平和像に近づけ、ベンチ等もあるとよい
  - ・平和像周辺に何らかの滞留・交流機能は必要
- 新たなモビリティについて
  - ・新たなモビリティ増加を見据えた検討

【緑・にぎわいについて】

- ・吉祥寺パークロードの社会実験のような取り組みができると面白い。繰り返しゃると街が変わっていく。
- ・緑、人、にぎわいに対して「動いている庭」の考え方を取り入れることが重要。

駅周辺のエリアの整備について

- 中1, 2駐輪場について
  - ・かたらいの道、駅前広場とつながる公園のような空間
  - ・広場として活用
- 周辺の整備について
  - ・小さな広場を周辺に点在：戦略的にやってみる

自転車対策について

- ・ルールの厳罰化等
- ⇒ハードとソフトの両面から考える

周辺道路（かたらいの道）について

- ・歩行者専用道路化
- ⇒路外駐車場や駐輪場設置規制の必要性
- ・沿道に店舗等が立地する等、より魅力的で歩きたくなる空間に

路上駐停車対策、附置義務駐車場について

- ・荷捌きと自家用車送迎のピークのズレ
- ⇒空間のシェア
- ・附置義務台数を上回る駐車場の活用

3. 第3回改定委員会の議題

